

suginami

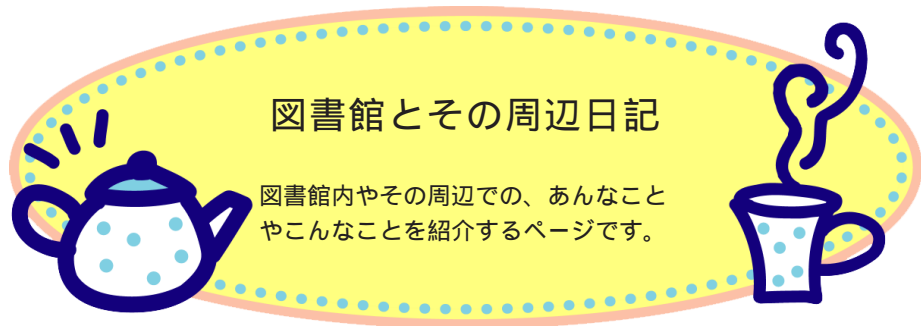
図書館だより

平成 25年 **2** 月号
杉並区立中央図書館
杉並区荻窪 3-40-23 03-3391-5754



～もくじ～

写真集をしてみよう	2
展示コーナー紹介	5
図書館とその周辺日記	6
スタッフのおすすめ本	7
この本いかが？～10代のあなたへ～	8
おしらせ	9
2月歳時記	10
2月の映画上映ご案内	11



図書館とその周辺日記

図書館内やその周辺での、あんなことやこんなことを紹介するページです。

蔵書点検って何してるの？

中央図書館で所蔵している約65万冊すべての本の状態（在庫？貸出中？行方不明？）を、職員・スタッフ総出で、1冊ずつチェックします。



ご注意ください

休館中は、他の杉並区立図書館に設置してある利用者用端末機（OPAC）・図書館ホームページからのリクエストは、通常通り受け付けています。

中央図書館のみが所蔵している本やCDをリクエストしていただいた場合、ご用意に時間がかかります。

リクエストされた図書等の受け取り館を中央図書館としている場合、取置期限に休館中の日数は含みません。

スタッフのおすすめ本



中央図書館のスタッフからのおすすめ本を紹介するコーナーです。あらすじや選者からのコメントをお楽しみいただければ幸いです。

「ボクの音楽武者修行」



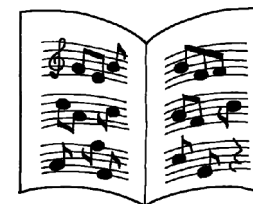
著者 小澤 征爾
出版社 新潮社 2002.11
分類 BG才
永福 柿木 方南 他所蔵

1959年、24歳の若者が音楽の本場ヨーロッパを目指して一人貨物船に乗りこんだ。青年は国際指揮者コンクールで優勝し、カラヤン、バーンスタインと出会い、日本を旅立って2年後にはニューヨーク・フィルの副指揮者として日本に凱旋帰国をする。

この本は「世界のオザワ」指揮者小澤征爾の自伝的エッセイです。彼が26歳の時に書かれたもので、当時の彼の息遣いが聞こえてくるような、テンポある若さあふれる文章です。

現在、サッカーや野球で世界にでる若者が多くいますが、今から50年以上も前にこのような日本人がいたという事に驚きです。

去年出版された村上春樹との対談集『小澤征爾さんと、音楽について話をする』と合わせて読んでほしいです。





10代の読者に向けて、読んでみてほしい本を独自に選んでご紹介しています。子どもでもあり、大人でもある貴重なこの時期に、図書館の本が、自分のアンテナを広げるきっかけになれば幸いです。

今回ご紹介するのは、現実からちょっと離れてしっとりゆっくり読める、外国のお話です。

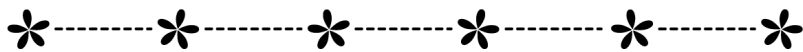
世界大恐慌時代、失業した父と娘二人は移動途中でみつけた誰かの夏の別荘で、こっそり一冬過ごすこととなります。現実的な長女ミンティは、勝手に人の家に住む罪悪感や、生活の心配などあれこれ奮闘します。父親がつくるパンケーキのにおいや、冬の森のしんとした空気が伝わってくる気がします。そして家の持ち主との出会い…。

読んだあと、あったかい気持ちになれる本です。ぜひ、手にとってみてください。

『ミンティたちの森のかくれ家』

著者 キャロ・ラリー・ブリック
出版社 文溪堂 2011.1
請求記号 9307 (児童)
成田・西荻・南荻窪 他所蔵

世界大恐慌で、町中に失業者があふれていた時代。ミンティたち家族は町を出て伯母のもとへ向かうが、車が故障してしまう。森の中にひっそり建つ別荘を発見し、ひと冬こっそり住むことにしたが…。ユーモアと詩情あふれる物語。

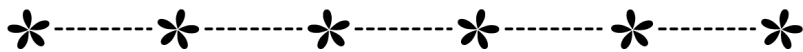


YA (ヤングアダルト) ミニ展示コーナー紹介

一般展示横のミニ展示コーナーでは、ヤングアダルト世代(10代)に向け、毎回テーマを決めて関連する本を展示しています。ぜひのぞいてみてください!

今月のテーマは...

前半は、引き続きYA向け「本の福袋」です!
後半は、「十代の君へ」(再び)



おしらせ

特別整理 (蔵書点検) による臨時休館のお知らせ

特別整理 (蔵書点検) を行うため、下記の日程で臨時休館いたします。

成田	2月5日(火)~2月8日(金)
中央	2月18日(月)~2月22日(金)

利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますとともに、休館日にご注意のうえご利用くださるようお願いいたします。

臨時休館中は、他の図書館に設置してある利用者用端末機及び図書館ホームページからのリクエストは、通常通り受け付けています。

臨時休館中は、当該図書館が所蔵する図書等については、予約割り当てに時間がかかることがあります。あらかじめご了承ください。

中央図書館は上記日程で臨時休館いたします。休館中の返却は、ブックポストがご利用いただけますが、返却処理に時間がかかることがあります。期限の切れた資料を返却する際や、中央図書館以外をご利用になる場合はご注意ください。



2 月歳時記

今回は、中央図書館の蔵書『歳時記のある暮らし』という本から、2月の歳時記をちょこっとご紹介します。

『歳時記のある暮らし』

監修 坂東眞理子

出版社 JTBパブリッシング 2008.12

請求記号 386シ

中央 柿木 高円寺 他所蔵

淑気、下萌、筆の花、桜南風、風待月など、日本の季節をあらわす言葉とその意味を、イラストや写真を交えてやさしく解説。季節を味わうための食べ物、お節句の飾りや祝い方なども紹介しています。日本の四季をじっくり味わってみませんか。



節分 (2月3日頃)

立春 (2月4日頃)

『……二十四節気がスタートする「立春」。歓びの春が到来する前日、「節分」の夜は、暦が改まる境目の時間。新しいものが始まる前の橋渡しのときは、どこにも属さない不安定さが支配します。そんなとき、自空間の隙間から異形の魑魅魍魎たちが忍びだし、道端の暗がりや家の影にひそみ、私たちをのぞき込みます。……』

節分の豆まきにはそんな「鬼」を追い払い、あらたな心で新しい春を迎えるという意味が込められているようです。



うすい

雨水 (2月29日頃)

『……降る雪が雨に変わる頃、という意味の「雨水」。立春を過ぎて初めて吹き抜ける強い南よりの風を「春一番」と呼びますが、例年観測されるのは、この雨水の頃。三寒四温のうちに、だんだんと忍び寄る春の足音。…この日を目安に一年の農耕の準備を始めるといわれるように、気持ちを春へと切り替える日といえます。……』

まだまだ寒いですが、春は確実に近付いているようです。乾燥していた土や風が、水気を含んで潤ってきたら、なんとも言えない春の匂いが漂ってきます。もうすぐもうすぐ

地下視聴覚ホールで映画会等を行っています。
事前のお申し込みは不要です。ご覧になりたい方は、
直接視聴覚ホールへお越しください。

2月23日(土)

時間：午後2時～4時

場所：地下視聴覚ホール

定員：先着50名

ちいさなひとのえいががっこうによる
こども映画会

生誕100年記念 新美南吉の世界

2013年7月に生誕100年、3月に没後70年を迎える新美南吉。この節目となる記念の年に、新美南吉原作によるアニメーションを上映いたします。

『手ぶくろを買いに』

『ごんぎつね』

『おじいさんのランプ』

『花のき村と盗人たち』

上映内容が変更になる場合もあります



上映の合間には16mmフィルム映写機の見学プログラムもあります



杉並区立中央図書館の

○ 印のついた日は休館日です

□ 印のついた日は午後5時までです

2 月の予定

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 お話会	4	5 あかちゃん タイム	6 お話会	7	8	9
10 お話会	11	12 あかちゃん タイム	13 お話会	14	15	16
17 お話会	18	19	20	21	22	23 こども映画会
- 臨時休館 -						
24 お話会	25	26 あかちゃん タイム	27 お話会	28		

行事の詳細は10ページ、映画会の詳細は11ページをご覧ください。

